

(1) 製造所・一般取扱所構造設備明細書（危省令様式第4のイ）

記入例

製 造 所
一般取扱所 構 造 設 備 明 細 書

事 業 の 概 要		化学薬品の製造 (事業所敷地面積 15,259 m ²)					
危険物の取扱作業の内容		ベンゼンメタジスルホン酸からレゾルシンを製造する。					
製造所（一般取扱所）の敷地面積		600 m ²					
建築物の構造	階 数	地上3階 地下1階	建築面積	340 m ²	延べ面積	1,360 m ²	
	壁	延焼の恐れのある外壁	RC造 (耐火構造)	柱	RC造 (耐火構造)	床	RC造 (耐火構造)
		その他の壁	RC造 (耐火構造)	は り	RC造 (耐火構造)	屋 根	RC造 (耐火構造)
	窓	網入りガラス アルミサッシ (防火設備)	出 入 口	鉄製 (特定防火設備)	階 段	屋外：鉄製1 屋内：耐火構造2	
建築物の一部に製造所（一般取扱所）を設ける場合の建築物の構造		階 数	地上2階	建築面積	340 m ²	延べ面積	340 m ²
		建築物の構造概要		RC造（耐火構造）			
製造設備（取扱）の概要	反応器 2基 蒸留塔 1基 3.5m 加熱設備 1基 熱交換器 2基						
令第9条第1項タンクの概要	2,000ℓ原料タンク 1基 (防油堤 8m ³ RC造) 500ℓ中間タンク 1基 1,500ℓ製品タンク 1基 3,000ℓ溶媒タンク 1基						
配 管	STPG、SUS		加 圧 設 備		溶媒タンク 50 kPa 加圧（窒素）		
加 熱 設 備	重油、加熱炉、200℃（直火）		乾 燥 設 備		なし		
貯 留 設 備	排水溝 10×10 油分離層 60×60×60		電 気 設 備		電気工作物に係る法令による		
換 気 、 排 出 設 備	一部強制排気		静 電 気 除 去 設 備		アース 第D種設置工事		
避 雷 設 備	独立避雷針 (JIS A4201:2003による)		警 報 設 備		自動火災報知設備		
消 火 設 備	第3種泡消火設備、第5種粉末消火設備						
工事請負者住所氏名	川越市〇〇町〇〇番地〇〇 川越工事㈱ 担当 〇〇 〇〇 電話〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇						

記入方法（製造所・一般取扱所 構造設備明細書）

欄	記入方法		
事業の概要	当該製造所・一般取扱所の設置している事業所等の主たる事業の概要を記入すること。 なお、カッコ書きにより当該事業所の敷地面積を記入すること。		
危険物の取扱作業の内容	危険物の取扱い及び取扱いに伴う貯蔵等の概要を記入すること。		
敷地面積	製造所・一般取扱所として規制されるエリアの面積を記入すること。		
「建築物の構造」の欄の記入方法は、次によること。			
	1 棟の建築物のすべてが製造所・一般取扱所として規制される場合	建築物の一部に設置した製造所・一般取扱所に供する部分	
	製造所・一般取扱所	他用途	製造所 一般取扱所 (供する部分)
		他用途	
	一棟規制	部分規制（一部規制）	
階数	当該建築物の建築基準法施行令第 2 条第 8 号で規定する階数を記入すること。 ただし、地階がある場合は、「地上○階、地下○階」と記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている階数を記入すること。 ただし、地階がある場合は、「地上○階、地下○階」と記入すること。	
建築面積	当該建築物の建築基準法施行令第 2 条第 2 号で規定する面積を記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分の面積を記入すること。	
延べ面積	当該建築物の建築基準法施行令第 2 条第 4 号で規定する面積を記入すること。	当該製造所・一般取扱所が複数の階に設置されている場合に、当該製造所・一般取扱所の部分の合計面積を記入すること。	
壁のうち「延焼のおそれのある外壁」	当該建築物の外壁のうち、建築基準法第 2 条第 6 号の規定に該当する部分がある場合に、当該外壁の構造を記入すること。 また、建築基準法における構造（「耐火構造」、「不燃材料」等）をカッコ書きで記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分に延焼のおそれのある外壁がある場合に、当該外壁の構造を記入すること。また、建築基準法における構造（「耐火構造」、「不燃材料」等）をカッコ書きで記入すること。	
壁のうち「その他の壁」	当該建築物のうち、延焼のおそれのある外壁以外の外壁、仕切り壁等の構造及び建築基準法における構造も併せて記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分の仕切り壁等の構造及び建築基準法における構造も併せて記入すること。	
柱、床、はり、屋根	当該部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。	

欄		記入方法					
窓		外壁部分にある窓の材質（網入ガラス、普通ガラス等）及び窓枠の材質（スチールサッシ、アルミサッシ等）並びに建築基準法における耐火性能（特定防火設備、防火設備等）をかつこ書きで記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分にある窓の材質（網入ガラス、普通ガラス等）及び窓枠の材質（スチールサッシ、アルミサッシ等）並びに建築基準法における耐火性能（特定防火設備、防火設備等）をかつこ書きで記入すること。				
出入口		外壁部分にある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分のにある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入すること。				
階段		「屋内階段」、「屋外階段」の区分、階段の数、階段の構造、階段室の場合は、区画の有無及び区画構造を記入すること。	当該製造所・一般取扱所が設置されている部分の「屋内階段」、「屋外階段」の区分、階段の数、階段の構造、階段室の場合は、区画の有無及び区画構造を記入すること。				
1 棟の建築物の一部に設置した製造所・一般取扱所の場合の「建築物の構造」の欄の記入方法は、次によること。		<table><tr><td>他用途</td><td>製造所</td></tr><tr><td>他用途</td><td>(一般取扱所)</td></tr></table> <p>建築物全体の概要</p>		他用途	製造所	他用途	(一般取扱所)
他用途	製造所						
他用途	(一般取扱所)						
階数	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 8 号で規定する階数を記入すること。						
建築面積	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 2 号で規定する面積を記入すること。						
延べ面積	当該建築物全体の建築基準法施行令第 2 条第 4 号で規定する面積を記入すること。						
建築物の構造概要		当該建築物全体の建築基準法第 2 条第 5 号で規定する主要構造部の構造の概要を記入すること。					
製造（取扱）設備の概要		危険物を製造し、又は取り扱う機器、設備のうち、次に掲げるものを記入すること。 (ア) 蒸留塔、反応塔、中間ドラムその他これらに類する施設の設置基数及びそれぞれの最高地上高さ (イ) 20 号タンクに該当しない反応槽、かくはん槽、焼き入れ槽その他これらに類する施設の容量及び設置基数 (ロ) 熱交換器、凝縮器その他これらに類する施設の設置基数 (エ) 危険物を取り扱うポンプの設置基数 (オ) ボイラー、加熱炉その他これらに類する施設のそれぞれ性能及び設置基数 (カ) 工作機械、油圧機械その他これらに類する施設の設置基数 (キ) 危険物を出荷するローディングアームの設置基数 (ク) 危険物を出荷するノズル、固定給油設備その他これらに類する施設（ローディングアームを除く。）のそれぞれの性能、確認済機種にあっては危険物保安技術協会による確認番号及び設置基数 (ケ) 印刷機、塗料等の吹き付け機その他これらに類する施設の設置基数 (コ) 上記以外に危険物を製造し、又は取り扱う機器の概要					

欄	記入方法
令第九条第一項第二十号のタンクの概要	当該製造所・一般取扱所において設置されている 20 号タンクのそれぞれの容量及び設置基数並びに屋外貯蔵タンクにあっては防油堤の構造及び容量を記入すること。
配管	当該製造所・一般取扱所に設置されている配管又は附属配管の材質について、記入すること。 なお、この場合において、JIS 記号でも認められるものであること。また、当該配管が地下埋設配管の場合は、配管外面の保護方法についても記入すること。
加圧設備	危険物製造・取扱機器、配管等に外部から圧力を加える設備等をいい、当該欄には、加圧される危険物の化学名又は通称名、加圧を行う設備又は施設名、圧力及び加圧する物質を記入すること。ただし、正圧又は負圧で 5 キロパスカルを超えない設備については、該当しないものであること。
加熱設備	危険物を直接、間接的に加熱する設備等をいい、当該欄には、加熱される危険物の化学名又は通称名、加熱する設備又は施設名、最高加熱温度及び加熱媒体を記入すること。 ただし、危険物を保温する設備は、当該設備には該当しないものであること。
乾燥設備	危険物を直接乾燥する設備又は危険物に含まれる溶剤等を蒸発させる設備をいい、当該欄には、乾燥される危険物の化学名又は通称名、乾燥する設備又は施設名、乾燥設備の最高温度、電気設備がある場合は、防爆のランク等を記入すること。
貯留設備	当該製造所・一般取扱所に設置してある、ためます、拡散防止措置（側溝、囲い）、油分離槽等の有無及びそのサイズ又は排水系統を記入すること。
電気設備	配線、スイッチ、照明、電動機等の構造及び防爆ランク等を記入すること。ただし、総合的に「電気設備の基準により設置」と記入することも認められるものであること。
換気、排出の設備	当該製造所・一般取扱所において、窓の開閉又は上部に設置された換気扇のみ等自然換気又は排出の場合は「自然換気」と、可燃性蒸気等が滞留するおそれのある場所のみを強制換気又は排出を行っている場合は、「一部強制換気」と、全体を強制換気又は排出を行っている場合は、「強制換気」を記入すること。
静電気除去設備	危険物が流動する際に発生する静電気等を除去する設備をいい、当該欄には、電気設備に関する技術基準を定める省令（昭和 40 年 6 月通商産業省令第 61 号）第 19 条第 1 項に定める接地工事の種類又は「アース」と記入すること。なお、電動機等電気設備の設置により設置する接地は、該当しないものであること。
避雷設備	当該製造所・一般取扱所に設置した「独立避雷針」、「独立架空地線」、「ケージ」のうち該当するものを記入すること。なお、当該製造所・一般取扱所が他の施設の避雷設備の保護角内にあるため、避雷設備を設置しない場合は、他の施設の避雷設備の区分及びかっこ書きで他の施設の名称等を記入すること。
警報設備	令第 7 条第 3 項で規定する区分のうち、当該製造所・一般取扱所に設置したものを記入すること。
消火設備	危政令別表第 5 の消火設備の区分のうち、当該製造所・一般取扱所に設置したものを記入すること。ただし、当該製造所・一般取扱所の一部に設置したものについては、その部分をかっこ書きで記入すること。
工事請負者住所氏名	設置者等から工事を請け負った法人の名称及び住所並びに当該法人における当該工事の責任者の氏名、電話番号を記入すること。